

岩手県 | 援隊だよ!

岩手県 (釜石) 派遣隊よ!

(「 | 援隊しずおか」よ!)

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ

がんばろう! 岩手

Vol. 47 (平成 27 年 12 月 22 日)

■ 小白浜水門工事で水門本体のコンクリート打設を開始しました

静岡県派遣職員が担当する小白浜水門工事では、水門本体の底版鉄筋が組みあがったことから、11月19日からコンクリート打設を開始しました。



上) コンクリートポンプ車2台によるコンクリート打設

小白浜水門工事では、コンクリートポンプ車2台によるコンクリート打設を行っており、1日に最大で約850m³の打設を7ヶ月間に渡り行い、最終的に21,000m³のコンクリートの打設を行います。

このような大規模なコンクリート打設が、静岡県派遣職員が担当する甲子川水門、^{かつし}鵜住居川水門、^{おおつち}大槌川・^{こづち}小鋸川水門で、順次予定されているため、今後、コンクリート供給量の調整が必要となります。

コンクリート打設が各水門で進むことにより、地域住民の方々にも、今までわかりにくかった水門の全体像をイメージすることができるようになり、着実に復旧復興が進んでいるということを実感していただけたと思います。



左上) 現場立会いを行う鈴木(広)主査

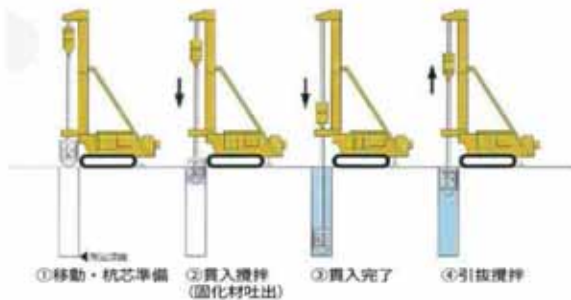


右上) ポンプ車打設

■ 片岸海岸防潮堤工事で地盤改良工事に着手しました

静岡県派遣職員が担当するかたがし片岸海岸防潮堤工事では、大規模な盛土工事に着手する前に地盤改良を実施する必要があります。この改良工法について、国土交通省防災課への変更協議を実施し、工法について了承されたため、地盤改良工事に着手しました。

地盤改良工法は2工法あり、1つ目は、法尻部（赤色部）に施工する【深層混合処理工法】です。

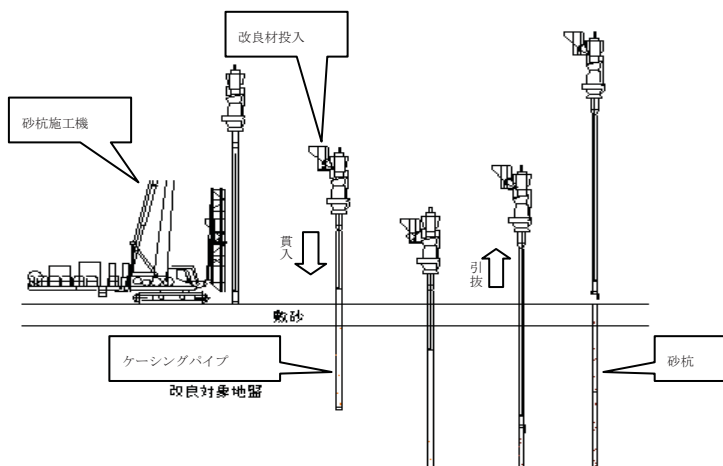


深層混合処理施工方法解説図

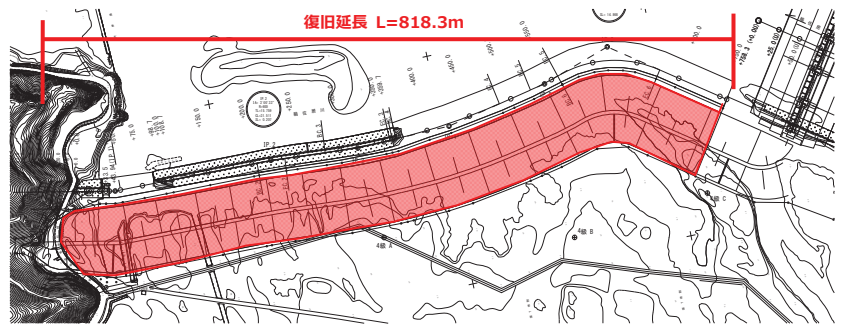
2つ目は、中央部（青色部）に施工する【サンドドレーン工法】です。

この地盤改良工法で施工することにより、通常 600 日かかる工期が、約 90 日にまで短縮することが出来ます。

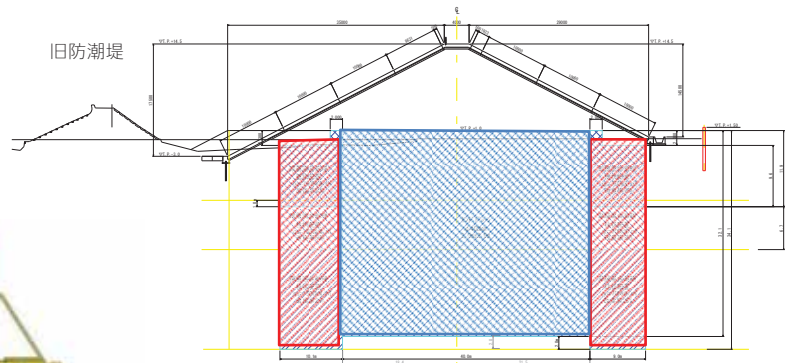
地盤改良工事は、平成 28 年度当初まで実施され、その後本体盛土に着手していく予定です。



サンドドレーン施工方法解説図



上) 片岸海岸平面図、下) 片岸海岸防潮堤 断面図



上) 深層混合処理施工状況

下) サンドドレーン施工状況



■ 旧大槌町役場庁舎はどうなるのか



岩手県大槌町にある旧大槌町役場庁舎は、震災遺構化の是非が問われています。

多くの町民が「解体」を望んでいると聞こえてきますが、震災の風化が進む中、遺構が震災の記憶を引き継ぐとの意見もあり、町民の中でも意見が分かれています。

ただ、震災遺構化の議論が長期間となり、復興まちづくり計画の変更や見直しが生じるなど、被災地の復旧・復興に影響が出ることも考えられます。

旧大槌町役場庁舎の「解体」か「保存」か、大槌町の今後の方針に注目しています。



■ 静岡県から交通基盤部の方々が激励&視察に訪れました

10月26日に宮尾交通基盤部都市局長ほか9名の交通基盤部職員が、静岡県派遣職員激励のため、岩手県沿岸広域振興局を訪れました。加藤沿岸広域振興局土木部長らと沿岸部の復興状況について、意見交換を行い、その後、静岡県派遣職員が担当する各水門等の現場を視察されました。

また、11月13日には、渡辺交通基盤部管理局长ほか8名の方々が訪れ、静岡県派遣職員が担当する各水門等の現場を視察、加藤沿岸広域振興局土木部長らと意見交換及び静岡県派遣職員の激励をして頂きました。



上) 意見交換を行う宮尾局長(左)と加藤部長(右)



左) 甲子(かっし)川水門の説明をする鈴木(健)主査



上) 意見交換する渡辺局長(左)と加藤部長(右)



右) 片岸海岸防潮堤の説明をする岩井主査

■ 日々是好日

○ あっぴりレーマソン

9月13日に岩手県八幡平市にある安比高原で「2015 あっぴりレーマソン」が開催されました。1周2kmの周回コースを21人でつないで42.195kmを走るという内容です。当日は、かなりの雨が降りしきり中、静岡県派遣職員の2名も激走しました。



上) 白鳥主査(中)、朝田主査(右)

○ 県土整備部サッカー大会

11月1日に岩手県県土整備部サッカー大会が開催されました。3月末の引継ぎの際、前任者の方々から「H24、H26と優勝しているので絶対に3連覇してください!!」と言われたあげく、岩手県の方々からは「静岡県はみんなサッカーうまいんでしょ。」と勝手にハードルを上げられ…、2重のプレッシャーの中、静岡県派遣職員から3名が参加しました。

結果は、惜しくも準優勝となりました。静岡県派遣職員は得点には絡めませんでしたでしたが仕事同様、堅実なプレイで貢献しました。



○ 東北道の駅スタンプラリー2015

現在、東北地区の146の道の駅を対象に「東北道の駅スタンプラリー2015」が展開されております。静岡県派遣職員の2名も暇さえあれば東北各県を巡っておりましたが、ついに144駅すべて(震災で閉鎖の2駅を除く。)を巡り、見事完走しました。



平成27年度 岩手県派遣メンバー

岩手県 沿岸広域振興局 土木部

河川港湾課 復興第一チーム：鈴木広和

復興まちづくり課 復興第三チーム：吉川孝洋、鈴木健支、朝田敏裕、白鳥雅紀、岩井博晴

(本号編集者 朝田)